

松戸市シルバー人材センター

はつらつ松戸

「自主・自立、共働・共助」 第60号

会員数

男性 1,688人

女性 505人

2,193人

平成30年11月末現在

編集・発行

公益社団法人
松戸市シルバー人材センター
〒271-0043
松戸市旭町1-174
TEL 047(330)5005
FAX 047(330)5008

松戸市シルバー人材センター
ホームページ
<https://webc.sjc.ne.jp/matsudo/>
E-mail matsudo1@sjc.ne.jp

発行 平成31年1月1日

冬薔薇石の天使に石の羽根 中村草田男



枯園や神慮にかなふ薔薇一つ 中田みづほ



錐揉みに燃え落ちてゆく冬薔薇 佐藤鬼房



あけまして

おめでとぅございます

「賛助会員」の皆様

個人会員

安蒜美智子 石崎喜江

伊藤司郎 梅本眞

岡島みどり 傘木則夫

加藤頼子 小暮宣子

田中英信 福嶋 弘

藤原良子 (五十音順敬称略)

法人会員

医療法人社団葵会

介護老人保健施設葵の園・松戸

社会福祉法人根本内福祉会

リバーサイドヴィラ

株式会社 吉廣商事

株式会社 ユマニテ

株式会社 MKA

有限会社 アルファメデイカル

有限会社 中田化成

有限会社 サカイ

(以上平成30年10月31日現在)

★安全標語★

事故防止、急くな、あせるな、気をぬくな

(公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会)

「これくらい!」緩む気持ちだが事故を呼ぶ

(公益社団法人千葉県シルバー人材センター連合会)

気がつかぬ身体への衰え怪我のもと

(公益社団法人松戸市シルバー人材センター)

新年のご挨拶



理事長 龍谷公一

新年あけましておめでとうございませう。会員の皆様には、お健やかに初春をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は、各分野での就業にご精励いただき、ともにセンター事業にご協力いただきましてありがとうございます。

また、市当局、関係企業並びに市民の皆様には、センター事業の運営に格別のご支援とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、ますます高齢化社会が進展しておりますが、もともと高齢化社会は、明治時代では40代そこそこの平均寿命だった日本人の平均寿命が延伸し、高齢者が長寿になったことが高齢化の意味とされておりますが、直接長寿になった要因としては、医療技術の著しい発展と医療品の開発等、これらの事情が大きな作用をしていたと思っております。

現在松戸市では、高齢者の皆様がいままで元気で過ごせるよう健康寿命の延伸を重要課題の一つとして取り組んでおります。

また、全国でも高齢者の健康寿命の延伸等に注目が集まっており、人生90年時代への備えと世代循環の実現が求められております。しかしながら、長くなる高齢期をどのように過ごすことがよいか等を考えてみますと、気が付けば地域社会は知らない人も多く、何をすればよいか悩んでいる方もいらつしやるとよく耳にしますが、こんなときは非会員の皆様には、シルバー人材センターへの加入を進めていただきまして、

センターでの仕事を通じて地域社会の役に立ちながら、高齢者として社会に支えられるのではなく、社会を支え、互いに助け合う精神を大切にしていただくとともに、地域の方とのコミュニケーションの促進を図り新たな仲間を作っていただきたいと思っております。さらには体を動かして働くことは健康増進にもつながり、生きがい感を醸成していただきたいと思います。

本年も皆様方の一層のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げますと共に、皆様のご健勝とご多幸を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

松戸市長
本郷谷 健次

明けましておめでとうございませう。会員の皆様には輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。龍谷理事長をはじめ、公益社団法人松戸市シルバー人材センターの皆様には、日頃より市政にお力添えを賜り厚く御礼申し上げます。

少子高齢化の進展により労働人口の減少が懸念されている昨今、シルバー人材センターに求められる役割は益々大きくなっていくものと存じます。本市では、高齢者の皆様がいままで元気でいられるよう健康寿命の延伸などを重要課題の一つとして掲げ、生涯現役で活躍できるような社会を目指し、様々な施策を推進して参りますので、引き続き皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様にとりまして、本年が幸多き年となりますよう祈念し、新年のご挨拶といたします。

松戸市議会議長
山口 栄作

明けましておめでとうございませう。会員の皆様には清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

龍谷理事長をはじめ松戸市シルバー人材センターの皆様には、高齢者の活躍の場として安定した事業運営を継続されておられることに、深い敬意と感謝の意を表する次第です。

高齢化が益々進展していく中、活力ある地域社会を維持していくためには、高齢者の社会参加への支援や就業機会の確保など、高齢者施策のさらなる充実が必要と考えております。

会員の皆様におかれましては、長年にわたり培われた豊富な知識と経験を生かして、引き続き地域の発展のためご尽力いただきますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様にとりまして、本年が明るく幸せな年となりますよう心から祈念し、新年のご挨拶といたします。

新規事業「福祉有償運送」がスタートします!!



常務理事
兼事務局長
槇島直樹

皆様、明けましておめでとうございます。今年「平成」という年号の最後の年でございます。皆様にとって「平成」とはどのような時だったでしょうか。さて当センターでは、その平成最後の年にいくつかの取り組みを始めております。その一つが「福祉有償運送サービス」の開始です。福祉有償運送というのは、お一人では公共交通機関を利用しての移動が困難な人が、行きたい場所に気軽に出かけられるように、福祉有償用の車両と運転者（会員）がご自宅にお迎えに行き、病院など行きたい場所にお連れし、必要ならそこで付添いをして、またご自宅までお送りするというサービスです。申請の手続きもようやく完了する見込みで、この新年にはサービスを開始することになります。これからこのサービスを広く知っていただき、利用者が増えるように事務局としても励んでまいりますので、会員の皆様にも

ご協力をお願いいたします。最後になります。今年が素晴らしい年になることを祈っております。

理事会報告

◆第5回 平成30年7月31日

(会議内容)

(1)承認事項

・入会者の承認について

(2)報告事項

- ・事業実施状況報告について
- ・未収金について
- ・予算執行状況について
- ・専門部会関係

◎専門部会等の活動状況報告

◆第6回 同年9月28日

(会議内容)

(1)承認事項

・入会者の承認について

(2)報告事項

- ・各部会からの報告
- ・事業実施状況報告について
- ・専門部会関係

◎専門部会等の活動状況報告

◆第7回 同年10月31日

(会議内容)

(1)承認事項

・入会者の承認について

(2)議案事項

議案第5号 公益社団法人松戸市シルバー人材センター臨時

職員就業規程の一部を改正する規程の制定について

(3)報告事項

- ・各部会及び各委員会から報告
- ・事業実施状況報告について
- ・未収金について
- ・予算執行状況について
- ・専門部会関係

◎専門部会等の活動状況報告

事務局からのお知らせ

◆就業相談日

就業相談は毎月第3木曜日の午前中にセンター事務局で行っています。お気軽にご相談下さい。また就業情報はセンター事務局の掲示板やセンターでもお知らせしています。

◆平成30年度正会員・賛助会員

会費の納入について

会費未納の方は早急に納入をお願い致します。コンビニエンスストアでお支払いができるよう感圧ハガキをお送りしておりますが、金融機関よりお振り込みされる場合は左記講座へお問い合わせ致します。

振込先

千葉銀行小金原支店
普通口座 3029246
公益社団法人松戸市シルバー人材センター

理事長 龍谷公一

◆就業報告書の提出期限

就業報告書の提出は翌月3日が期限です。それを過ぎると翌々月の配分金扱いとなりますのでご注意ください。(※ファックスでのご送付も可能です。)

センター25周年特集

私に起きた特別な出来事

□「検察審査員」に任命されて

5班 大谷敏博

8年程前になりますが、検察審査員に任命され、千葉地方法務局松戸支局で半年間の任務を体験したことが、私の人生最大の特別な出来事です。この制度は検察官が不起訴にした案件が正しい処分だったかどうかを国民一般の目で審査するもので、昭和23年から行われています。当時兄の酒屋を手伝っていた身に、そんな大層な任命の葉書がいきなり届いたので、はじめは半信半疑で松戸市局へ確認に行きました。そしてら全国の有権者の中から抽選で11名が選ばれ、「あなたはその一人」とのこと。宝くじより低い確率に当たった人には、上は70歳男性、下は20歳女性までいました。家族にさえ秘密厳守の誓約書を書かされ、市内の傷害事件や交通事故など色々

な案件をほぼ週1で通って選任された方々と真剣に討論しました。これは自分自身でも責任感を持って体験した事として、今でも時折懐かしく思い出します。

□短歌の魅力を知ったある解釈

2班 長尾 志朗

数年前、佐佐木幸綱氏の短歌解釈に触れる機会があり、その独自の見解に強烈な衝撃を受けた。



ゆく秋の大和の国の薬師寺の塔の上なる一ひらの雲

歌人佐佐木信綱が世に問うた第二歌集『新月』所収の一首がそれ。幸綱氏は信綱の孫で、自身も現代一流の歌人だが、その斬新な解釈に目からウロコが落ちたのである。その解釈を簡潔に紹介しよう。仏塔の相輪を見上げる歌人（信綱）の視線は、優雅な古典美を実現した奈良時代の粋を、繊細な感性をもつて捉えている。名詞（ゆく秋・大和・薬師寺）を「の」の多用でつないでゆく手法、その柔らかなY音の頭韻的つながりが、T音（塔）によって断ち切られる。その絶妙な音の運び。「ゆく秋の」

と自然界の大きな動きから始まり、「大和の国の」↓「薬師寺」↓「塔」と絞られ、一転して「一ひらの雲」の浮かぶ空へと開かれて、深い旅情と爽やかな秋の澄んだ大気を連想させる。幸綱氏はこの歌集を「虚無と疲労、不吉と性的な匂いがある」と論じており、私もさらに「大和八首」「法隆寺」「大和懐古三首」と読み進めたが、みな「愛の歌」としか読めなかつた。氏の解釈によつて「ゆく秋」の一首は、大和の古く懐かしい風景を詠んだ歌人信綱畢生の秀歌と再確認し、感動を新たに、ますます好きな歌になつた。

(※参考・国文学(解釈と教材の研究)第43巻13号所収『短歌の謎』學燈社98年11月)

□二つのノート

主事 須藤 吉康

人がメモするノートには二つあるという。一つは「頭のノート」で、仕事上の注意点やマニュアルのようなもの。もう一つは「心のノート」で、人間性や人格を高めるために心に刻むこと。この二つ、言うは易く行うは難しである。学生時代に福祉施設の現場実習に参加し、指導員から福祉施設の仕事は体を使うことは勿論だが、それ以上に頭を働かせなければ使え物にならないと言われた。また心が

なければこの仕事は続かぬとも。施設での普段の作業は「頭のノート」にメモせよ。逆に利用者と接する方法などは「心のノート」にメモれ。分かつたようで分かつたが、利用者の心に残るよう「頑張れ」。そう言われて納得でき、さつそく「心のノート」にメモした。

当センターに職を得て頭のノートは増えたが、心のノートは増えただろうか。冒頭で難しいと言つたのはそこに疑問を感じたからである。若いころは先入観を持たず、何事も素直に受け止めてきたが、大人になるにつれ、しだいにその姿勢がなくなつてきたのではないかと。相手の気持ちに配慮せず、手慣れた作業を優先するような姿勢はなかつたかと。人材センターにとつてシルバー会員は宝である。増やす努力はもちろん、減らさぬ工夫も必要だと思う。今からでもセンターと会員を結ぶ橋渡しを担い、日々の研鑽を忘れず、出来るだけ心のノートを積み重ねたいと思つている。

□闘病4年、人工膀胱回避した!

5班 山崎 修平

2015年の初秋、膀胱がん

を宣告された時はさすがにショックだった。その前2年くらい、夏にきまつて血尿があり、それも毎回一日だけという奇妙な現象が続いた。これを軽視したのが災いのもと。3年目、ついに「出っ放しになつた。慌てて近くの泌尿器科へゆくと」「5センチ立派な膀胱がんです」医師がシラつとして言う。おいおい、そんな簡単にいうなよと思つたが、事実は受け入れるしかない。膀胱がんは痛くも痒くもないのが特徴で、取つても再発しやすいと物の本に書いてある通り、市内の病院で3度手術をしたが取り切れず。セカンドオピニオンを求めて柏のがんセンターへ行くも、金だけ取られて詳細不明。いよいよ外付け膀胱かと覚悟した矢先、家内が情報を持ってきた。女友達の首にできた巨大な悪性腫瘍が、数軒の病院で断られたのを東京三田の病院が引き受け、見事完治したという。ワラをも縋る思いで(国際医療福祉大学)三田病院に電話すると「初診からやりましょう」と快諾。本手術一回で前立腺がんまで発見し取り切つた。私の場合は浸潤(癌細胞が袋に食い込む)が浅かつたので助かつた。その後リンパに僅かな転移が見られ患部切除

の手術をしたが、現在はほぼ完治状態と思っている。が、主治医が容易に「無罪」と言わないのがすこし不気味。三月ごとの検査と前立腺用注射が今も続いている。

配分金 支払日

(平成31年)
1月22日(火)
2月15日(金)
3月15日(金)
4月15日(月)
5月22日(水)
6月14日(金)

地域班活動

○活動2題 5班 谷地田由夫

【サッポロビール工場見学】好天に恵まれた9月23日(日)船橋市のサッポロビール千葉工場を見学した。小室理事、佐藤恵子5班担当理事、4班出口7班瀧崎両班長を含め20名の参加者があった。同工場はサッポロビール最大の生産量を誇り敷地は東京ドームの三倍もある。竣工30年を記念し工場と見学ルートも一新。三年前とは異なる清新さがあった。お楽しみ品の試飲会は、入館料五百円でグラス三杯の黒ラベル生が無料。昼食は構内にある千葉ビール園で。広いレストランも連休で満席。予定の自己紹介も叶わなかったが、みんな大いに談笑し食事を楽しんだ。昼食後は近くに係留してある南



極観測船「しらせ」を外から見学。海岸の椰子の木通りの散策で気分転換とお決まりのコース見学2回目のせいか参加者はやや少なかったが楽しい秋の一日であった。

【副班長打ち合わせ会】1か月後の10月23日(火)には5班の副班長打ち合わせを和食店で行った。退任する5班担当の小林理事と新担当の佐藤恵子理事も出席挨拶された。新しく地域活動委員会委員長に就任した林義雄理事からは今後の方針等の説明があり、小林理事には私達から十年の長きに亘りご指導を賜った謝意を述べた。

その後、今後の単発作業班と軽度生活援助サービスマン班についての説明や質問、地域班での会員親睦旅行の継続について等々活発な話し合いを行った。

○キリンビール工場見学

2班 河合 勉

10月18日(木)好天。渡辺担当理事を含めた36名で我孫子駅から徒歩10分の手賀沼公園を散策。

コンビニ弁当で昼食を摂ったあと、キリンビール取手工場へ向った。工場では映像による説明を受け、広い敷地をバスで移動。仕込み建屋で大きな仕込み釜を見学し、顕微鏡による酵母の観察、麦芽の試食、またホップの香りなどを体験した。製造ラインの一部を見た後、ビールの試飲会場へ。安田班長の挨拶と乾杯。試飲は「一番搾り」を含む三種類の飲み比べ。樽詰生ビールは予想どおりの美味しさだったが、時間が限られていて、なんとも残念でした。

○戸定邸と戸定歴史館見学

7班 瀧崎 文夫

10月23日(火)前日の気象予報がはずれ朝から雨がシトシト降り、正午松戸駅東口に強運の10名が集合しました。出発しようとした途端、雨が上がり傘をささずに戸定邸に到着、ボランティアのガイドさんが受付で待っていてくれました。12班のセクター会員の方でした。ガイド氏から東日本大震災の影響がなかったことや三葉葵は徳川家それぞれが少しずつ異なることなど説明を受けました。特に建物の梁に使用されている一本もの丸太は約16メートルあり、これには目を見張りました。建物に

詳しいメンバーは使用木材等についてガイド氏と意見交換しました。「戸定」とは松戸市の地名「字戸定」から命名され、その土地建物は松戸徳川家から現在は、松戸市へ移管されたとのこと。東屋庭園も改修されており、晴れていれば富士山が見えるそうですが、今日は残念でした。

○皇居見学積年の本懐とげる

8班 今田尚俊

平成最後の秋の11月13日(火)、樹木も色づく時期、30余名で皇居見学に向きました。地下鉄二重橋前駅下車、桔梗門より入場。まず窓明館で宮内庁職員から英語、中国語、日本語の順で見学の留意点やコースの説明がありました。見学者はなぜか台湾の人たちが多ぜい。その理由に興味があったが中国語ができず残念でした。

これから皇居に行かれる皆様



へらの注意事項です。①見学コー
ス約2キロ上にトイレ、売店、
自販機などはありません(たばこ、
アルコール類禁止)。②本人確
認のもの(免許証、保険証、マ
イナンバーカード等)を所持す
る必要あり。③皇居内での写真
撮影は自由。但し集合写真は不
可(三脚使用も不可)。④二重
橋の意味。皇居前広場から見上
げると橋が二重に架かっています。
手前が「正門石橋」、奥が「正
門鉄橋」で、その鉄橋を二重橋
と言います。



個人的なことですが、皇居の
向かい側の本社ビルに勤めてい
た当時、皇
居方面を眺
めては、あ
の二重橋か
ら丸の内方
面を見てみ
たいと切望
していました。
今回漸く念
願が叶い、
写真まで撮
ることがで
き(写真右)、
ついに「本
懐」を遂げ
ることが出
来ました。

参加各位にもそれぞれ秘めた思
いがあつたのでは：そんな感懐
に浸った晩秋の一日でした。

ボランティア活動

●松戸祭り普及啓発活動に参加して

3班 武山孝義

松戸市制75周年の第45回松戸
祭りが10月6・7両日行われ、
私の担当は7日(日)でした。
午前9時より晴天の中盛大に幕
を開けました。当シルバー人材
センターは今年も広報部会、女
性部会、ボランティア委員会に
よる啓発活動が鈴木事務局長補佐、
畑山主任を中心に総勢16名で行
われました。午前9時よりブー
ス作り、アンケート係による準備
おみやげ作り、ボランティアの
チラシ、ティッシュの準備が始
まりました。出発にあたり鈴木
補佐が、今日は暑いですが元氣
いっぱいがんばりましょうと挨拶。
ボランティアのメンバーは宇賀
神さん、長谷部さん、大前さん、
林さん、それに私武山です。
突然ブースの入替えがあり、
前に花壇のある気持ち良い場所
に引越しました。祭りの催しは『和
太鼓演奏』を皮切りに『スタジオ
オエンジェルダンス』『佐渡お

けさ流し』『宿場町だよ松戸で
ござる』等々で大いに盛りあが
りました。午前、午後を通して
アンケートのおみやげもボラン
ティアのティッシュも全部無く
なり、無事終了。アンケート中
の60歳代の女性は『シルバーセ
ンターで今仕事をしています。
毎日が楽しくて多くの方々で紹介
していききたいです』とコメン
トしていました。私自身も啓発
活動を通して多くの方々と共に
合い、今少ならず地域のため
に貢献しているとあらためて認
識することが出来、本当によか
ったです。

部会活動

◆同好会をつくらう

2班 森谷芳子

援助券などの仕事に取り組み
ながら、現在、松戸のさわらび
保育所で早朝の子供の見守りを
行っています。仕事のない時は
自分の好きな趣味と、保育所の
読み聞かせなどのボランティア
を4件持つて楽しんでます。
そこで、女性部会として女性
会員の皆様にお願ひがあります。
現在色々な同好会があります。
もつとほかに女性会員が仕事を
しながら楽しめる同好会かサー

クルを新規に立ち上げたいと思
っています。何か良いアイデア
をお待ちしています。

最後に、来る3月6日(水)

松戸市民劇場において当センタ
ー主催の催しを開催します。セ
ンターの紹介をはじめ出前講座
お楽しみ企画としてアトラクシ
ョンや歌と踊りの披露などがあ
ります。皆様お誘い合わせの上
ぜひご参加ください。

会員の広場

□私の趣味はクラシック

9班 渡辺 昇

ベートーベンのピアノ協奏曲
第5番「皇帝」を聴いて衝撃を
受け、以来この曲が好きになり
ました。交響曲もいろいろですがピ
アリストやバイオリニストなど
のソリストが登場する協奏曲は
華やかさが好きです。他に
北欧のグリーグのピアノ協奏曲
やシベリウスのバイオリン協奏
曲も。サンサーンスの交響曲3
番「オルガン付」やピアノ協奏
曲2番はフランスのエレガント
さを感じます。モーツァルトの
ピアノ協奏曲20番、27番は気楽
さがあり好きです。室内楽では
ベートーベンのバイオリン・ソ
ナタ5番「春」や9番「クローイ

ツエル」、シューベルトのピアノ五重奏「ます」などです。

以下逸話を一つだけ。あの大作作曲家チャイコフスキーは若いころロシア法務省に勤務。趣味である作曲への情熱が高じて作曲家へ。作品の多くは斬新で、当時すぐには世間に認められず、私の好きなピアノ協奏曲第一番などは演奏不可能とされ、やつとアメリカで初演され好評を得る。バレエの3作品を発表するが、「白鳥の湖」や「くるみ割り人形」は後世になって有名に。初演成功は「眠りの森の美女」のみ。最後の交響曲「悲愴」の初演数日後に亡くなる。大作作曲家でも最初から成功したわけではないのです。

□報告2題

3班 山本博之

【グラウンドゴルフ大会に参加】

グラウンドゴルフ同好会主催の第2回大会が9月19日(木)に金ヶ作公園で開催。天候にも恵まれ、有志32人が集いました。競技に先立ち、鈴木事務局長補佐から、同好会活動を通じての当センターのPR活動、会員勧誘、増員のための施策、依頼事項の説明がありました。競技は16ホール2回の32ホールストロークプレーで、8チームに分かれて

スタート。結果ホールインワン1回、2ゲームトータル78のスコアで宮本晃会員が、見事大会3連覇を達成しました。

【福祉有償運送の講習に参加】

千葉県シルバー人材センター連合会主催の「福祉有償運送運転者・セダン等運転者養成講習」が10月11・12の2日間開催されました。これは国土交通大臣指定カリキュラムに基づく講習であり、近々当センターでも取り組む新事業で、他6名の会員と一緒に受講しました。研修にあたって強く指導されたことは、

- ①「こころ」は誰にも見えないが「こころづかい」は見える
- ②「おもい」は見えないけれど「おもいやり」は誰にでも見える
- ③あたたかい心もやさしい思いも行いになってはじめて見える

でした。講習は法的な事項の理解、車椅子の構造、取り扱い、移動困難者の状況に合わせた対応の仕方、福祉車両の種類と構造、



車椅子、福祉車両を使っての実習と密度の濃い内容でした。来たるべき事業展開に対応するべく、全員が修了証を頂きました。

チャレンジ文芸

短歌

根岸敦子(2班) たくみなるグラデーシヨンの紅葉の樹下にカラフル落葉息づく

俳句

小倉美枝子(2班) 酉の市希望と聞こゆ手締め輪秋色のサイクルロード迷路めく

室井正壮(2班)

薔薇園に女性弦楽四重奏 久しぶりふるさとに在り夏衣 たまらずに踊る阿呆となりにけり 山小屋に女性の多し星祭 露の世のこんな豪雨になろうとは

田沼國男(7班)

若水を汲んで迎へる新玉や 山茶花や小間に一輪亭主の気 落葉松の針の絨毯踏みゆけり

片倉敏雄(8班)

読みふけて気付けば夜半の虫時雨 台風の天を干上げて修羅の雨 ハンドルを休めて山の錦吸ふ 煮大根のん兵衛ほほを緩ませり 星澄みて夜半のラジオの聖歌かな

松本有介(9班)

過去よりも未来知りたし走馬灯 色なき風原爆ドームと鐘の音

花筏を画布に見立ててラジコン船

島田忠巳(7班)

風花や平成すでに散りいそぐ 水仙や過去は問はぬは聖人 抱かれしノートの恋詩冬銀河 生涯を慈にささげしや雪だるま

田中義明(2班)

樹木希林という生き方秋の雲 羊飼い何求め生く天の川 秋たける走れD51裏磐梯 大根干す江戸には江戸の江戸人情 ふとん干すアラビアンナイト千一夜

長尾志朗(2班)

小春日を諸手に受けて歩きけり 憂きことは心に秘めて冬の月 初雪に降り込められて炬燵酒 鯉雑煮ふるさと遠く祝ひけり 年頭に思ひは嶺の高さほど

若井正幸(8班)

十五夜や機灯行き交い町眠る 悠久の宮守る幼冬桜 小春日や車窓でえがお翁媪

川柳

老沼正一(12班)

妻のメモちよこんとカップ麺の上 亡き母の動画を飾る御仏前 ロボットの指導を受ける研修医 くすりより元気をくれる笑みの孫 待ち合わせ目印だった赤電話 デッドボール相手打線へ起爆剤 お財布へ香水をまくデートの日

佐々木幸紀(2班)
 亥年こそぶれずに父権取り戻す
 正月は病院巡り願をかけ
 新年の財布は軽く気は重く

同好会に入りませんか

■**手工芸同好会**

連絡先／高橋久子(5班)
 (電話)367・2317

■**グラウンド・ゴルフ同好会**

今年度大会予定
 第1回5月・第2回10月
 第3回11月(詳細次号)

連絡先／中川忠興(12班)
 (電話)386・7433

■**囲碁クラブ**

連絡先／高橋公(5班)
 (電話)364・2390

■**絵本読み語り同好会**

連絡先／島田忠巳(7班)
 (電話)341・3544

■**カラオケ同好会**

連絡先／小林久芳(5班)
 (電話)367・6579

■**松明健康麻雀クラブ**

連絡先／金井八重子(3班)
 (電話)360・0778

■**「賛助会員」募集**

松戸市シルバー人材センターは、働く意欲のある高齢者に就業機

会を提供し、生きがいの充実と福祉の増進を図るため賛助会員制度を設けております。つきましては本趣旨にご理解ご賛同を頂き、本会員にご入会のうえ、センター事業の一翼を担って頂きたくお願い申し上げます。

年会費は次のようにさせていただきます。

○個人会員(1口) 1500円
 ○法人会員(1口) 3000円

ご入会後は会報「はつらつ松戸」を発行の都度お送りし、同誌にお名前を掲載致します。

お申し込みの詳細は当センター事務局へご連絡ください。

◎連絡先 330・5005

■**5月号原稿大募集**

募集内容は、「はつらつ松戸第59号」と同様としますので引き続き奮ってご投稿ください。

締切は平成31年3月末日迄

おことわり

新任理事5名の方の「抱負」については紙面の都合で5月発行号に掲載します。ご了承ください。(本紙編集部)

■**確定申告を忘れずに**

配分金の税金関係の取り扱い

課税対象で「雑所得」に区分

されます。配分金収入を確認の上、所得税が課税される方は、税務署へ申告・納税してください。期間は2月18日～3月15日です。

★**医療費控除について**

平成29年分の確定申告から、医療費控除は領収書の提出は不要となり、代わりに「医療費控除の明細書」の添付が必要となりました。

◎配分金支払証明書を希望する方は、事務局に電話(0471-33015005)でご連絡をいただき、指定した日以降にお越しください。

◎配分金と公的年金等以外の収入がある場合、その他不明な点や詳細につきましては、松戸税務署(0471-3631171)にお問い合わせください。

☆**確定申告はインターネットで出来ます!**

■**平成30年度事故報告** (平成30年11月末現在)

★平成30年度事故件数 25件

・傷害事故件数14件
 内訳 就業中9件、就業途上5件

・賠償事故件数11件
 賠償事故件数13件

★平成29年度事故件数 13件

・傷害事故件数8件
 内訳 就業中5件、就業途上3件
 ・賠償事故件数5件

■**編集後記**

お笑い芸人のサンドウィッチマンの二人が病院の中庭にテントを張り、病院ラジオという放送を病院に流すテレビ番組があった。話したい人が次々訪れる入院して二ヶ月、心臓移植を待つ娘さんの母親。若い頃はヤンチャしていたが、娘を産んで初めて母親の自覚が芽ばえ、今は娘を励まし支えていると言う。そんな母の本心を病床で聞き、無表情だった娘の顔が優しい雰囲気になった。自分は愛されていると実感したのだ。早く心臓移植が実現しますように。祈りつつ見入ってしまった番組だった。(根岸編)

公益社団法人 **松戸市シルバー人材センター**

〒271-0043 松戸市旭町一丁目一七四
 TEL0471-3301500
 FAX0471-3301500

・月曜日から金曜日
 午前8:30～午後5:00
 ・土・日・祝日及び年末年始はお休みです。

※県立馬橋高等学校を目印にお越し下さい。
 JR馬橋駅西口より徒歩25分 JR馬橋駅西口発(京成バス)松戸駅行き 旭町下車3分